

令和3年度教育研究活動報告書

氏名	吉田政之	所属	経済情報学部経済情報学科
学位	博士（経営学）	職位	講師
専門分野	管理会計		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	基礎演習I、専門演習Ia、専門演習Ib、専門演習IIa、専門演習IIb、管理会計論、原価計算論、工業簿記
大学院	管理会計特論
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）コロナ禍における管理会計システムの変化と役割	
（2）相対的業績評価におけるモニタリングの影響	
（3）リスク情報開示の有用性	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R3・R2・R1	
R3	〈 論文 〉 小笠原亨、早川翔、吉田政之。(2021). 相対評価における追加的なモニタリング. 管理会計学、29(1)、19-31、査読あり
R2	〈 論文 〉 「リスク情報開示の内容と有用性に関する実証研究」、単著、2020、神戸大学、博士論文 〈 論文 〉 「リスク情報開示におけるリスクの種類とその変遷—トピックモデルを用いて—」、単著、 2020、『原価計算研究』44(1)、pp.116-128、査読あり 〈 論文 〉 「管理会計は新型コロナウイルスからの復旧・復興を支援できるのか： 東日本大震災の実証研究の成果の拡張」、共著（三矢裕、佐々木郁子）、2020、 『企業会計』72(7)、pp.937-943、査読なし
R1	〈 論文 〉 「企業のリスクマネジメントがテールリスクへ与える影響」、共著（早川翔、新井康平、妹尾剛好）、 2019、『原価計算研究』43(2)、pp.89-102、査読あり 〈 学会発表 〉 事前のリスク認識とリスク顕在化後の企業業績との関係性—自然災害リスクに焦点を当てて—、 単独、日本会計研究学会 2019年9月8日、査読なし 〈 学会発表 〉 リスク情報開示における文章属性と認識しているリスクの変遷、単独、日本原価計算研究学会 2019年9月4日、査読なし 〈 学会発表 〉 相対評価における追加的なモニタリング、共同（小笠原亨、早川翔）、日本管理会計学会 2019年8月29日、査読なし 〈 学会発表 〉 リスク情報開示における文書属性とリスク認識の決定要因、単独、日本管理会計学会 2019年8月29日、査読なし
H30以前の主な研究業績	
（1）〈 論文 〉 リスクマネジメントと管理会計の関係に関する考察、共著（橋本英幹、三矢裕）、2017、 国民経済雑誌216(3)、pp.41-67、査読なし	
（2）〈 ワーキングペーパー 〉 過剰生産と将来業績—製造原価を用いた残差分析—、 共著（早川翔、吉田政之、小山真実、安酸建二）、神戸大学大学院経営学研究科大学院生 ワーキング・ペーパー 201804a 2018年10月、査読なし	
（3）〈 ワーキングペーパー 〉 リスク情報の可読性と将来業績に関する実証分析、単著、 神戸大学大学院経営学研究科大学院生ワーキング・ペーパー 201806a 2018年10月、査読なし	
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） R1・R2・R3	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本会計研究学会、日本管理会計学会、日本原価計算研究学会所属	
学術表彰（本年度を含む過去3年間の研究業績）	
2020年10月日本原価計算研究学会 奨励賞 リスク情報開示におけるリスクの種類とその変遷—トピックモデルを用いて—	